

社会資本総合整備計画 事後評価書

萩市はぎしにおける歴史的れきしてき景観環境けいかん かんきょう整備せいび(第Ⅱ期だい き)

萩市はぎし

平成31年3月

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 31 年 3 月 31 日

計画の名称	萩市における歴史的景観環境整備（第Ⅱ期）			
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）	交付対象	山口県萩市	
計画の目標				

『歴史的風致形成建造物等やその周辺環境の整備を行うことで、歴史的景観の保存や住環境の向上を図り、それらを活用することにより地域固有の魅力あるまちづくりを推進する。』

計画の成果目標（定量的指標）										
歴史的風致形成建造物の整備に伴い観光拠点としての活用による観光客数の増加 歴史的風致形成建造物及び周辺整備による交流人口の増加 地域固有の魅力的なまちづくりを行うことによる他地域からの定住者数の増加										
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考
					当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)			
					100.0%		115.0%	※中間目標は任意		
① 萩地域の観光客数から算出する。 萩地域の観光客数を、平成25年実績人数から15%増加を目標とする。					100.0%		105.0%			
② 旧城下町及びその周辺区域の文化財施設の入場者数から算出する。 対象施設 1 6 施設の入館者数の合計の推移を、平成25年実績人数から5%の増加を目標とする。					100.0%		105.0%			
③ 定住対策支援による空き家バンク等を利用して他地域から定住した人数から算出 平成20～24年度現在における平均定住者数の5%増加を目標とする。					100.0%		105.0%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	540百万円	A	356百万円	B	65百万	C	119百万	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	22.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期									
事後評価の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期				
					平成30年度				
本市の担当部局にて評価を実施					公表の方法				
					萩市公式ホームページにて公表				

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30			
1-A1-1	住宅	一般	萩市	直接	萩市	旧城下町及び周辺地区街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備 1件 案内看板設置5箇所 駐車場整備1箇所	萩市						356		
合計													356			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
1-B1-1	道路	一般	萩市	直接	萩市	道路	市道拡幅、駐車場入口整備、支障物件（地中化立上共同柱等）の移転補償等	萩市						65		
合計													65			
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					
1-B1-1	基幹事業(1-A-1)と一体となって歴史的風致形成建造物及び駐車場への車両の進入路となる市道(一方通行道路)を拡幅及び一通解除することで、歴史的風致形成建造物へ導く駐車場機能の一層の向上															
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
1-C-1	設備整備等	一般	萩市	直接	市	設備整備等	周辺環境・設備等整備事業	周辺外構、機械・電気等の設備工事及び活用に係る内装の整備	萩市						119	
1-C-2	社会実験	一般	萩市	直接	市	社会実験	萩まちじゅう博物館構想推進事業	公開文化財の情報発信・案内業務・観光周遊調査	萩市						0	
合計													119			
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30			
合計																

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・昭和10年建築の旧小学校だった国登録文化財等の改修により、市内中心部における良好な景観形成が図られた。さらに、来館者も1年間で30万人を超え、萩観光の窓口としての効果が表れており、交流人口の増加など周辺地域の賑わいや魅力向上につながっている。その管理運営についても、行政と市民と協働で行うなど、地域住民あげて来館者に対するおもてなしに取り組んでいる。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（萩地域の観光客数）	最終目標値	115%	目標値と実績値に差が出た要因	<p>観光客数については、平成27年度の萩が舞台の大河ドラマの放送や世界遺産登録に相まって、前年比150%超の観光客数となった。しかしながら、平成28～30年度については、周辺県市町で毎年豪雨などの自然災害が発生し、交通の分断など様々な来萩阻害要因により、当初現況値よりも微増したものの最終実績値に至らなかった。引き続き、当該施設を観光起点と位置づけ、観光客確保に努めていく。</p> <p>整備した歴史的風致形成建造物から積極的な情報発信を行い、地域内の文化財施設と連携して、周遊観光を促進した結果、目標数を上回る当該文化財施設の入館者数となった。</p> <p>旧城下町及び周辺地区の整備により、当該地域の魅力が向上し、他地域から多くの定住増加につながった。</p>
		最終実績値	102.4%		
	指標②（文化財施設の入館者数）	最終目標値	105%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	257.80%		
	指標③（他地域からの定住者数）	最終目標値	105%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	300%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、萩市の魅力向上のため、市内の歴史的景観の保全や住環境の向上を図っていく。また、それらを活用することにより地域固有の魅力あるまちづくりを推進する。 					

(参考様式) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金事業 (住環境整備事業)) 事後評価書

